白浜町 津波ハザードマップ

白浜地域　想定地震　南海トラフの巨大地震

この津波ハザードマップは、和歌山県が平成25年に公表した「南海トラフの巨大地震」及び「東海・東南海・南海3連動地震」の津波浸水想定を基に作成したものです。
津波からの避難場所は、付近の高台です。地震の揺れを感じたときは、防災行政無線のサイレンや放送を聞いてからではなく、揺れがおさまったら直ちに避難行動を開始してください。東日本大震災の教訓に学び、想定にとらわれることなく、可能な限り高い所へ避難することが肝要です。いざというときのために、毎日の避難訓練や避難路の点検が有効です。
マップには、町が把握している初期避難場所（高台等 ）、津波避難ビル ）、津波避難タワー ）を表示しています。
この他にも、自宅の裏山など近くの安全な高台への避難をお願いします。
なお、町が開設する避難所（ ）は、地震・津波の直後の危険性が去った後、避難生活をするために使用するものです。

凡例（表記等）
- 高台等
- 津波避難ビル
- 津波避難タワー
- 町が開設する避難所
- 鉄道
- 国道
- 県道

凡例（浸水予測範囲）
- 0.01～0.3m未満
- 0.3～1m未満
- 1～2m未満
- 2～5m未満
- 5～10m未満
- 10～20m未満

津波避難の3原則

1 想定にとらわれるな！
●このハザードマップに掲載している震度分布や津波の浸水域は、あくまでひとつの「想定」です。実際の地震や津波が想定通りになるとは限りません。

2 率先避難者たれ！
●強い地震や、弱くても長い地震があった後は、津波の危険性があります。津波警報などの情報を待たず避難しましょう。
●家族が離れたところにいた場合、避難に行こうとすると避難が遅れてしまいます。津波から逃れた後、再会することとして、自分ひとりでも避難しましょう。率先して避難することで、周囲の人の避難を促すことにも繋がります。

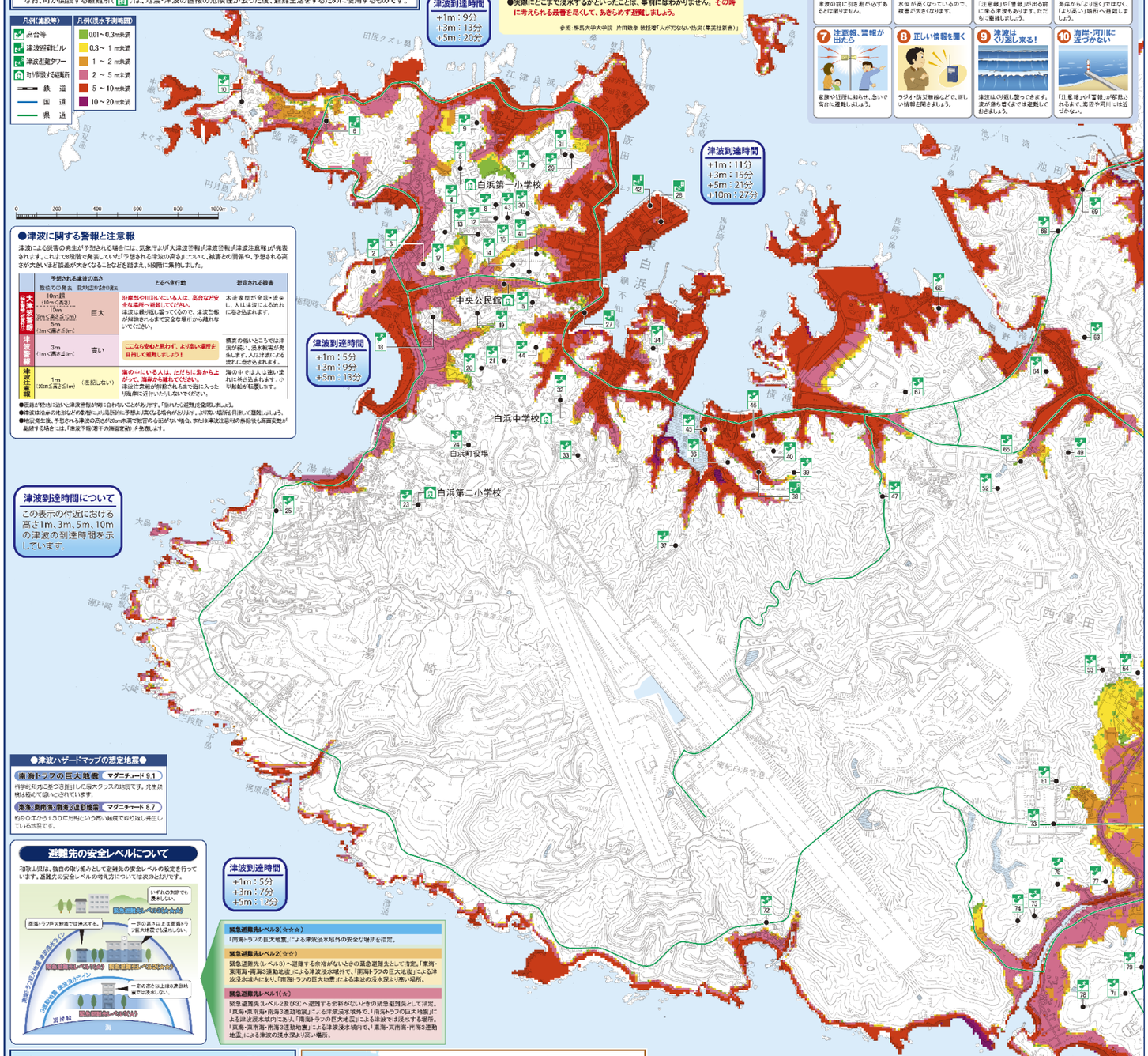
3 最善をつくせ！
●実際にどこまで浸水するかといったことは、事前にはわかりません。その時に考えられる最善を尽くして、あきらめず避難しましょう。

参考：熊本大学大学院　戸田敏幸 教授著「人が死なない防災（集英社新書）」

津波対策10か条

津波から身を守る最大のポイントは、「逃げる」が勝ち」です。地震発生後、津波による災害の発生が予想されたら、すぐに避難しましょう。

1. 家族会議を開こう
避難する場所や事前に家族で話し合っておきましょう。
2. 小さな揺れでも油断禁物！
小さな揺れでも津波の危険性があります。
3. 引き潮がなくても注意！
津波の前に引き潮が必ずあるとは限りません。
4. 満潮のときは要注意
水位が高くなっているので、被害が大きくなります。
5. 津波のスピードは速い！
「注意報」や「警報」が出る前に来る津波もあります。ただちに避難しましょう。
6. 高い場所へ避難する
海岸からより遠くではなく、より高い場所へ避難しましょう。
7. 注意報、警報が出たら
家族や近所に知らせ、合いて安全に避難しましょう。
8. 正しい情報を聞く
ラジオ・防災無線などで、正しい情報を聞きましょう。
9. 津波はくり返し来る！
津波はくり返し襲ってきます。波が落ち着くまでは避難しておきましょう。
10. 海岸・河川に近づかない
「注意報」や「警報」が解除されるまで、高波や河川には近づかない。



●津波に関する警報と注意報

津波による災害の発生が予想される場合には、気象庁より「大津波警報」「津波警報」「津波注意報」が発表されます。これまでは段階で発表していた「予想される津波の高さ」について、被害との関係や、予想される高さが大きいほど誤差が大きくなることを踏まえ、3段階に集約しました。

	予想される津波の高さ		とるべき行動	想定される被害
大津波警報	数値での発表（巨大地震が基礎の発表） 10m以上（10m＜高さ） 10m（5m＜高さ≦10m） 5m（1m＜高さ≦5m）	巨大	沿岸部や川沿いにいる人は、高台など安全な場所へ避難してください。津波は繰り返し襲ってくるので、津波警報が解除されるまで安全な場所から絶対ないでください。	木造家屋が全壊・流失し、人は津波による流れに巻き込まれます。
津波警報	3m（1m＜高さ≦3m）	高い	ここから安心と思わず、より高い場所を目指して避難しましょう！	標高の低いところでは津波が襲い、浸水被害が発生します。人は津波による流れに巻き込まれます。
津波注意報	1m（20cm≦高さ≦1m）	（表記しない）	海の中にいる人は、ただちに海から上がって、海岸から離れてください。津波注意報が継続されるまで海に入ったり海岸に近づいたりしないでください。	海の中では人は速い流れに巻き込まれます。小型船舶が転覆します。

●震源が陸地に近いと、津波警報が間に合わないことがあります。「感れたら避難」を心がけましょう。
●津波は河川の地形などの影響により場所ごとに予想より高くなる場合があります。より高い場所を目指して避難しましょう。
●地震発生後、予想される津波の高さが20cm未満で被害の心配がない場合、または津波注意報の解除後も海面変動が継続する場合には、「東海・東南海・南海の海溝型地震」が発表します。

津波到達時間について

この表示の付近における高さ1m、3m、5m、10mの津波の到達時間を示しています。

●津波ハザードマップの想定地震●

南海トラフの巨大地震　マグニチュード 9.1
科学的知識に基づき推計した最大クラスの地震です。発生確率は現在では明らかにされていません。

東海・東南海・南海3連動地震　マグニチュード 8.7
約90年から150年間隔という近い将来で繰り返し発生している地震です。

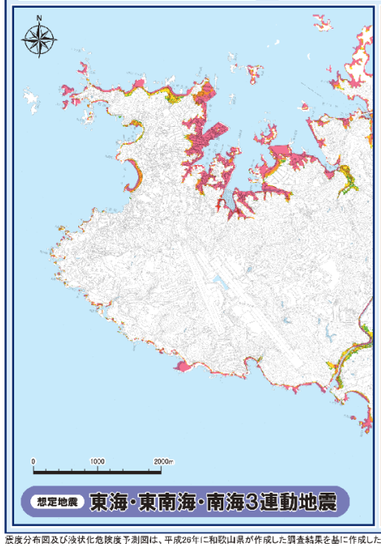
避難先の安全レベルについて

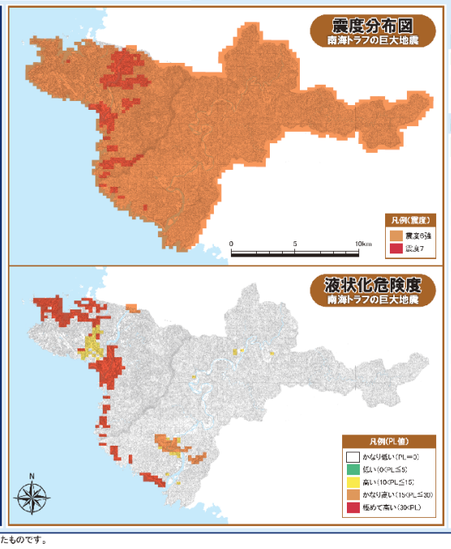
和歌山県は、独自の取り組みとして避難先の安全レベルの設定を行っています。避難先の安全レベルの考え方については次のとおりです。

緊急避難先レベル3(☆☆☆)
「南海トラフの巨大地震」による津波浸水域外の安全な場所を指定。

緊急避難先レベル2(☆☆)
緊急避難先(レベル3)へ避難する余裕がないときの緊急避難先として指定。「東海・東南海・南海3連動地震」による津波浸水域外で、「南海トラフの巨大地震」による津波浸水域内にあり、「南海トラフの巨大地震」による津波の浸水深より高い場所。

緊急避難先レベル1(☆)
緊急避難先(レベル2及び3)へ避難する余裕がないときの緊急避難先として指定。「東海・東南海・南海3連動地震」による津波浸水域外で、「南海トラフの巨大地震」による津波浸水域内にあり、「南海トラフの巨大地震」による津波で浸水する場所。「東海・東南海・南海3連動地震」による津波浸水域内で、「東海・東南海・南海3連動地震」による津波の浸水深より低い場所。





町が開設する避難所一覧

避難所名	住所	電話番号
白浜第一小学校	白浜町190番地	42-2330
中央公民館	白浜町1130番地の9	42-2269
白浜第二小学校	白浜町2234号地	42-2345
白浜中学校	白浜町2601番地	42-2444

初期避難場所（高台等）一覧

No.	名称	海抜(m)	緊急避難先レベル	No.	名称	海抜(m)	緊急避難先レベル
2	瀬戸地区1(熊野三所神社敷地)	16.9	☆☆☆	38	東白浜地区12(白浜なぎさホーム)	3.0	☆(津波避難ビル)
3	瀬戸地区2	19.3	☆☆☆	39	東白浜地区13	14.8	☆☆☆
4	瀬戸地区3	17.4	☆☆☆	40	東白浜地区14	22.3	☆☆☆
5	瀬戸地区4(白浜第一小学校敷地)	13.1	☆☆☆	41	東白浜地区15(東ゲートボール場付近)	14.3	☆☆☆
6	瀬戸地区5(民宿ておる赤別館)	5.7	☆(津波避難ビル)	42	東白浜地区16(ホテル川久)	2.8	☆(津波避難ビル)
7	瀬戸地区6(フォーリル白浜)	24.4	☆☆☆	43	東白浜地区17(白浜島地テニスコート)	24.3	☆☆☆
8	瀬戸地区7(共同墓地)	18.0	☆☆☆	44	東白浜地区18	18.3	☆☆☆
9	瀬戸地区8(江津良初期避難場所)	16.6	☆☆☆	45	東白浜地区19	13.4	☆☆☆
10	瀬戸地区9(善所山)	31.8	☆☆☆	46	東白浜地区20	16.7	☆☆☆
12	白浜地区1(共同墓地)	22.5	☆☆☆	47	東白浜地区21	16.3	☆☆☆
13	白浜地区2	17.0	☆☆☆	49	堅田地区1(西庄集会所敷地)	24.0	☆☆☆
14	白浜地区3(常善院敷地)	30.9	☆☆☆	52	堅田地区4(櫛ヶ峯集会所敷地)	32.0	☆☆☆
15	白浜地区4	21.0	☆☆☆	53	堅田地区5	14.7	☆☆☆
16	白浜地区5	11.6	☆☆☆	54	堅田地区6	16.8	☆☆☆
17	白浜地区6	23.4	☆☆☆	63	堅田地区15(白浜ビーチゴルフ場跡地)	30.0	☆☆☆
18	白浜地区7	17.6	☆☆☆	64	堅田地区16	17.1	☆☆☆
19	白浜地区8	25.9	☆☆☆	65	堅田地区17	15.4	☆☆☆
20	白浜地区9(白浜中央保健センター敷地)	26.3	☆☆☆	66	堅田地区18	19.6	☆☆☆
21	白浜地区10(白浜まはゆ病院駐車場)	26.0	☆☆☆	67	堅田地区19(白浜サンビーチ多目的広場)	28.2	☆☆☆
23	湯崎地区1(白浜第二小学校敷地)	41.0	☆☆☆	68	堅田地区20	26.7	☆☆☆
24	湯崎地区2	32.4	☆☆☆	69	堅田地区21	12.8	☆☆☆
26	湯崎地区3(ホテルシーモア駐車場)	24.0	☆☆☆	71	才野地区3	40.4	☆☆☆
27	東白浜地区1(福愛ビル)	1.5	☆(津波避難ビル)	72	才野地区4	20.4	☆☆☆
28	東白浜地区2(ホビアル白浜)	1.5	☆(津波避難ビル)	73	才野地区5	19.1	☆☆☆
29	東白浜地区3(春公園サニーヒル)	25.5	☆☆☆	74	才野地区6	30.2	☆☆☆
30	東白浜地区4(松の木地蔵)	15.4	☆☆☆	75	才野地区7	19.5	☆☆☆
31	東白浜地区5(臣民町会切目観音堂)	25.2	☆☆☆	76	才野地区8	16.4	☆☆☆
32	東白浜地区6(白浜中学校敷地)	17.3	☆☆☆	77	才野地区9	12.0	☆☆☆
33	東白浜地区7(ディサービスセンター白浜)	36.9	☆☆☆	78	才野地区10(熊野神社敷地)	38.4	☆☆☆
34	東白浜地区8(コガノイベイホテル敷地)	22.2	☆☆☆	79	才野地区11	42.8	☆☆☆
36	東白浜地区10	19.3	☆☆☆	81	才野地区13(花井団地)	13.8	☆☆☆
37	東白浜地区11(修心院金剛寺敷地)	20.1	☆☆☆				

震度分布図及び液状化危険度予測図は、平成26年に和歌山県が作成した調査結果を基に作成したものです。

【発行】白浜町（平成26年3月作成）

白浜町 津波ハザードマップ

富田地域　想定地震　**南海トラフの巨大地震**

この津波ハザードマップは、和歌山県が平成25年に公表した「南海トラフの巨大地震」及び「東海・東南海・南海3連動地震」の津波浸水想定を基に作成したものです。

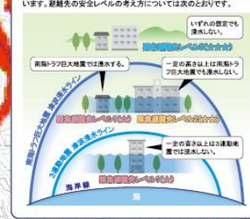
津波からの避難場所は、付近の高台です。地震の揺れを感じたときは、防災行政無線のサイレンや放送を聞いてからではなく、揺れがおさまったら直ちに避難行動を開始してください。東日本大震災の教訓に学び、想定にとらわれることなく、可能な限り高い所へ避難することが肝要です。いざというときのために、毎日の避難訓練や避難路の確認が有効です。

マップには、町が把握している初期避難場所（高台等、津波避難ビル、津波避難タワー）を表示しています。この他にも、自宅の裏山など近くの安全な高台への避難をお願いします。

なお、町が開設する避難所（）は、地震・津波の直接の危険性が去った後、避難生活をするために使用するものです。

避難先の安全レベルについて

和歌山県は、独自の取り組みとして避難先の安全レベルの設定を行っています。避難先の安全レベルの考え方については次のとおりです。



緊急避難先レベル3（☆☆☆）
「南海トラフの巨大地震」による津波浸水域外の安全な場所を指定。

緊急避難先レベル2（☆☆）
緊急避難先（レベル3）へ避難する余裕がないときの緊急避難先として指定。「東海・東南海・南海3連動地震」による津波浸水域外で、「南海トラフの巨大地震」による津波浸水域内にあり、「南海トラフの巨大地震」による津波の浸水深より高い場所。

緊急避難先レベル1（☆）
緊急避難先（レベル2及び3）へ避難する余裕がないときの緊急避難先として指定。「東海・東南海・南海3連動地震」による津波浸水域外で、「南海トラフの巨大地震」による津波浸水域内に有り、「南海トラフの巨大地震」による津波では浸水する場所。「東海・東南海・南海3連動地震」による津波浸水域内で、「東海・東南海・南海3連動地震」による津波の浸水深より高い場所。

●津波ハザードマップの想定地震●

南海トラフの巨大地震　マグニチュード 9.1
科学的知見に基づき設計した最大クラスの地震です。発生頻度は極めて低いとされています。

東海・東南海・南海3連動地震　マグニチュード 8.7
約90年から150年周期という高い頻度で繰り返し発生している地震です。

津波対策10か条

津波から身を守る最大のポイントは、「逃げるが勝ち」です。地震発生後、津波による災害の発生が予想されたら、すぐに避難しましょう。

1 家族会議をしよう
避難する場所を事前に家族で話し合っておきましょう。

2 小さな揺れでも油断禁物！
小さな揺れでも津波の危険性があります。

3 引き潮がなくても注意！
津波の前に引き潮がめずあるとは限りません。

4 満潮のときは要注意
水位が高くなっているので、被害が大きくなります。

5 津波のスピードは速い！
「注意報」や「警報」が出る前に来る津波もあります。ただちに避難しましょう。

6 高い場所へ避難する
海岸から「より遠く」ではなく、「より高い」場所へ避難しましょう。

7 注意報、警報が出たら
家族や近所に知らせ、急いで高台に避難しましょう。

8 正しい情報を聞く
ラジオ・防災無線などで、正しい情報を聞きましょう。

9 津波はくり返し来る！
津波はくり返し襲ってきます。波が弱い間は避難しておきましょう。

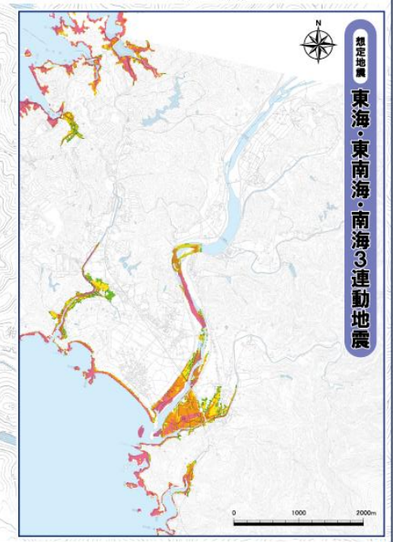
10 海岸・河川に近づかない
「注意報」や「警報」が解除されるまで、海辺や河川には近づかない。

町が開設する避難所一覧

避難所名	住　所	電話番号
西富田小学校	白浜町才野47番地	45-0024
富田中学校	白浜町栄320番地	45-0059
南白浜小学校	白浜町中1696番地の2	45-0044
清掃センター	白浜町保呂749番地	45-3800
上下水道課庁舎	白浜町平956番地	45-2000
児童館・町立体育館	白浜町十九渕237番地	45-2117
富田小学校	白浜町十九渕545番地	45-0073

初期避難場所（高台等）一覧

No.	名　称	海抜(m)	緊急避難先レベル	No.	名　称	海抜(m)	緊急避難先レベル
49	堅田地区1（西越集会所敷地）	24.0	☆☆☆	80	才野地区12（西富田小学校敷地）	10.3	☆☆☆
50	堅田地区2（聖福寺敷地）	27.0	☆☆☆	81	才野地区13（花内団地）	13.6	☆☆☆
51	堅田地区3（上観音敷地）	19.0	☆☆☆	82	才野地区14	50.0	☆☆☆
52	堅田地区4（都ヶ峯集会所敷地）	32.0	☆☆☆	84	栄地区1	41.6	☆☆☆
53	堅田地区5	14.7	☆☆☆	86	中地区1（シニア共和国シャングリラ敷地）	40.6	☆☆☆
54	堅田地区6	16.8	☆☆☆	88	保呂地区1（清掃センター敷地）	67.0	☆☆☆
55	堅田地区7（東の公園）	12.5	☆☆☆	89	内ノ川地区1（林綿寺敷地）	22.1	☆☆☆
56	堅田地区8（玉彦神社敷地）	21.5	☆☆☆	90	内ノ川地区2（北富田小学校敷地）	11.2	☆☆☆
57	堅田地区9（玉月ヶ丘）	14.9	☆☆☆	91	内ノ川地区3（内ノ川ふれあい会館敷地）	14.8	☆☆☆
58	堅田地区10	18.2	☆☆☆	92	平地区1（平老人憩いの家敷地）	24.6	☆☆☆
59	堅田地区11	39.4	☆☆☆	93	平地区2	23.6	☆☆☆
60	堅田地区12	10.5	☆☆☆	94	平地区3	22.4	☆☆☆
61	堅田地区13	18.6	☆☆☆	95	平地区4	19.9	☆☆☆
62	堅田地区14	31.1	☆☆☆	96	平地区5	18.2	☆☆☆
63	堅田地区15（白浜ゴーチゴルフ倶楽部敷地）	30.0	☆☆☆	97	平地区6	11.3	☆☆☆
64	堅田地区16	17.1	☆☆☆	98	平地区7	16.0	☆☆☆
65	堅田地区17	15.4	☆☆☆	99	富田地区1（津波避難タワー）	1.5	☆（津波避難タワー）
66	堅田地区18	19.6	☆☆☆	100	富田地区2	29.7	☆☆☆
67	堅田地区19（白浜サニービーチ手洗広場）	28.2	☆☆☆	101	富田地区3（草堂寺横）	13.7	☆☆☆
68	堅田地区20	26.7	☆☆☆	102	富田地区4	15.8	☆☆☆
69	堅田地区21	12.6	☆☆☆	103	富田地区5	15.6	☆☆☆
70	才野地区2	25.8	☆☆☆	104	富田地区6	24.3	☆☆☆
71	才野地区3	40.4	☆☆☆	105	富田地区7	13.9	☆☆☆
73	才野地区5	19.1	☆☆☆	106	富田地区8	23.6	☆☆☆
74	才野地区6	30.2	☆☆☆	107	富田地区9	48.3	☆☆☆
75	才野地区7	19.5	☆☆☆	108	富田地区10（飛鳥神社敷地）	17.4	☆☆☆
76	才野地区8	16.4	☆☆☆	109	富田地区11	17.1	☆☆☆
77	才野地区9	12.0	☆☆☆	170	富田地区12（認定こども園ケアハウス敷地）	4.2	☆（津波避難ビル）
78	才野地区10（熊野神社敷地）	38.4	☆☆☆	110	十九渕地区1（加勝寺敷地）	18.2	☆☆☆
79	才野地区11	42.6	☆☆☆	111	十九渕地区2（小倉山）	43.6	☆☆☆
				115	平間地区1（浜殿寺敷地）	15.0	☆☆☆



津波到達時間

+1m：6分
+3m：8分
+5m：9分
+10m：20分

津波到達時間について

この表示の付近における高さ1m、3m、5m、10mの津波の到達時間を示しています。

津波避難の3原則

① 想定にとらわれるな！
●このハザードマップに掲載している震度分布や津波の浸水域は、あくまでひとつの「想定」です。実際の地震や津波が想定通りになるとは限りません。

② 率先避難者たれ！
●強い地震や、弱くても長い地震があった後は、津波の危険性があります。津波警報などの情報を待たず避難しましょう。
●家族が離れたところにいた場合、迎えに行こうとすると避難が遅れてしまいます。津波から逃れた後、再会することとして、自分ひとりでも避難しましょう。率先して避難することで、周囲の人の避難を促すことにも繋がります。

③ 最善をつくせ！
●実際にどこまで浸水するかといったことは、事前にはわかりません。その時に考えられる最善を尽くして、あきらめず避難しましょう。

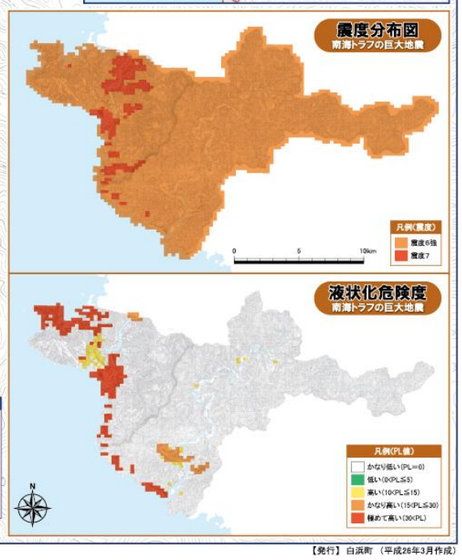
参照：群馬大学大学院　片田敏孝 教授著「人が死なない防災（集英社新書）」

●津波に関する警報と注意報

津波による災害の発生が予想される場合には、気象庁より「大津波警報」「津波注意報」が発表されます。これまで6段階で発表していた「予想される津波の高さ」について、被害との関係や、予想される高さが大きいほど誤差が大きくなることなどを踏まえ、5段階に集約しました。

	予想される津波の高さ		とるべき行動	想定される被害
	数値での発表	巨大地震の場合の発表		
大津波警報（最大の警戒が必要）	10m超（10m＜高さ）	巨大	沿岸部や川沿いにいる人は、高台など安全な場所へ避難してください。津波は繰り返し襲ってくるので、津波警報が解除されるまで安全な場所から離れないでください。	木造家屋が全壊・流失し、人は津波による流れに巻き込まれます。
	10m（5m＜高さ≦10m）			
	5m（3m＜高さ≦5m）			
津波警報	3m（1m＜高さ≦3m）	高い	ここから安心と思わず、より高い場所を目指して避難しましょう！	構造の低いところでは津波が襲い、浸水被害が発生します。人は津波による流れに巻き込まれます。
津波注意報	1m（20cm≦高さ≦1m）	（表記しない）	海の中にいる人は、ただちに海からよがって、海岸から離れてください。津波注意報が解除されるまで海に入ったり海岸に近付いたりしないでください。	海の中では人は速い流れに巻き込まれます。小型船舶が転覆します。

●震源が陸地に近い場合津波警報が間に合わないことがあります。「揺れたら避難」を徹底しましょう。
●津波は沿岸の地形などの影響により局所的に予想より高くなる場合があります。より高い場所を目指して避難しましょう。
●地震発生後、予想される津波の高さが10m未満で数字での公表がない場合、または津波注意報の解除後も海面変動が継続する場合には、「津波予報（若干の海面変動）」を発表します。

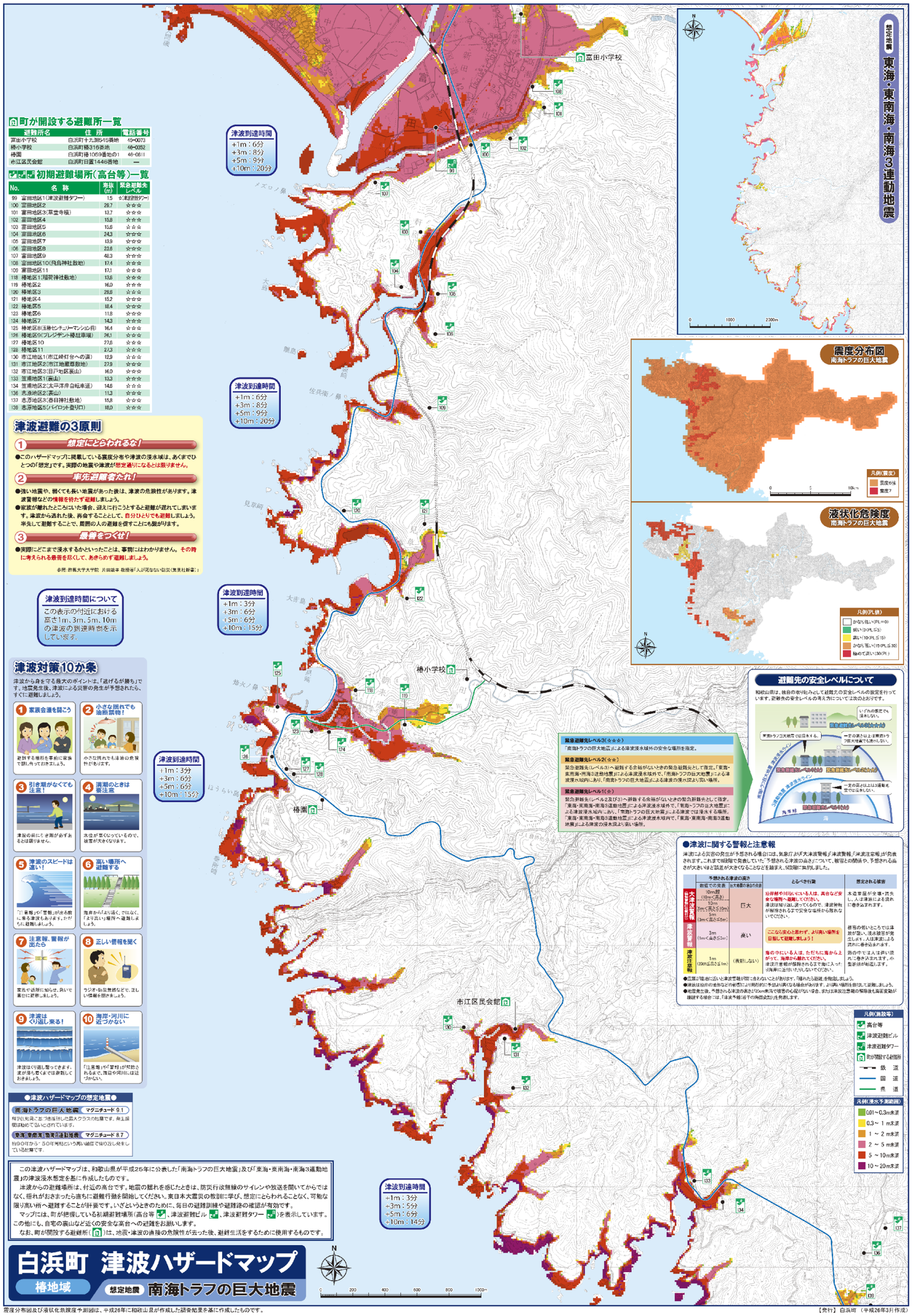


凡例（施設等）：高台等／津波避難ビル／津波避難タワー／町が開設する避難所／鉄道／国道／県道

凡例（浸水予測範囲）：0.01～0.3m未満／0.3～1m未満／1～2m未満／2～5m未満／5～10m未満／10～20m未満

震度分布図及び液状化危険度予測図は、平成26年に和歌山県が作成した調査結果を基に作成したものです。

【発行】白浜町（平成26年3月作成）



町が開設する避難所一覧

避難所名	住所	電話番号
富田小学校	白浜町十九渕515番地	46-0073
椿小学校	白浜町椿316番地	46-0352
椿園	白浜町椿1069番地の1	46-0611
市江区民会館	白浜町日置1446番地	—

初期避難場所(高台等)一覧

No.	名称	海抜(m)	緊急避難先レベル
99	富田地区1(津波避難タワー)	1.5	☆(津波避難タワー)
100	富田地区2	28.7	☆☆☆
101	富田地区3(草盛寺裏)	13.7	☆☆☆
102	富田地区4	15.8	☆☆☆
103	富田地区5	15.6	☆☆☆
104	富田地区6	24.3	☆☆☆
105	富田地区7	13.9	☆☆☆
106	富田地区8	23.8	☆☆☆
107	富田地区9	46.3	☆☆☆
108	富田地区10(飛鳥神社敷地)	17.4	☆☆☆
109	富田地区11	17.1	☆☆☆
118	椿地区1(福荘神社敷地)	13.6	☆☆☆
119	椿地区2	16.0	☆☆☆
120	椿地区3	26.8	☆☆☆
121	椿地区4	15.2	☆☆☆
122	椿地区5	18.4	☆☆☆
123	椿地区6	11.8	☆☆☆
124	椿地区7	14.3	☆☆☆
125	椿地区8(玉椿センチュリーマンション前)	16.4	☆☆☆
126	椿地区9(フレンテポート椿駐車場)	26.1	☆☆☆
127	椿地区10	27.8	☆☆☆
128	椿地区11	27.3	☆☆☆
130	市江地区1(市江峠灯台への道)	12.9	☆☆☆
131	市江地区2(市江地蔵尊敷地)	27.9	☆☆☆
132	市江地区3(目戸地区裏山)	16.0	☆☆☆
133	笠甫地区1(裏山)	13.3	☆☆☆
134	笠甫地区2(太平洋岸自転車道)	14.6	☆☆☆
136	志原地区2(裏山)	11.3	☆☆☆
137	志原地区3(春日神社敷地)	15.8	☆☆☆
139	志原地区5(パイロット登り口)	18.0	☆☆☆

津波避難の3原則

① 想定にとらわれるな！

●このハザードマップに掲載している震度分布や津波の浸水域は、あくまでひとつの「想定」です。実際の地震や津波が想定通りになるとは限りません。

② 率先避難者たれ！

●強い地震や、弱くても長い地震があった後は、津波の危険性があります。津波警報などの情報を待たず避難しましょう。
●家族が離れたところにいた場合、迎えに行こうとすると避難が遅れてしまいます。津波から逃れた後、再会することとして、自分ひとりでも避難しましょう。率先して避難することで、周囲の人の避難を促すことにも繋がります。

③ 最善をつくせ！

●実際にどこまで浸水するかといったことは、事前にはわかりません。その時に考えられる最善を尽くして、あきらめず避難しましょう。

参照：群馬大学大学院　片田敏孝 教授著「人が死なない防災（美英社新書）」

津波到達時間について
この表示の付近における高さ1m、3m、5m、10mの津波の到達時間を示しています。

津波対策10か条

津波から身を守る最大のポイントは、「逃げるが勝ち」です。地震発生後、津波による災害の発生が予想されたら、すぐに避難しましょう。

1. 家族会議を開こう
避難する場所を事前に家族で話し合っておきましょう。
2. 小さな揺れでも油断禁物！
小さな揺れでも津波の危険性があります。
3. 引き潮がなくても注意！
津波の前にひき潮が必ずあるとは限りません。
4. 満潮のときは要注意
水位が高くなっていますので、被害が大きくなります。
5. 津波のスピードは速い！
「津波警報」や「警報」が出る前に来る津波もあります。ただちに避難しましょう。
6. 高い場所へ避難する
海岸からより遠く、ではなく、「より近い場所へ避難しましょう。
7. 注意報、警報が出たら
家族や近所に知らせ、身いを高台に避難しましょう。
8. 正しい情報を聞く
ラジオ・防災無線などで、正しい情報を聞きましょう。
9. 津波はくり返し来る！
津波はくり返し襲ってきます。波が海も穏くまでは避難しておきましょう。
10. 海岸・河川に近づかない
「注意報」や「警報」が発令されるまで、海辺や河川には近づかない。

●津波ハザードマップの想定地震●

南海トラフの巨大地震　マグニチュード9.1
現代に相応ふさわしい最大クラスの地震です。身土崎県は初めて揺れにさらされています。

東海・東南海・南海3連動地震　マグニチュード8.7
約90年から150年周期という高い頻度で繰り返し発生している地震です。

この津波ハザードマップは、和歌山県が平成25年に公表した「南海トラフの巨大地震」及び「東海・東南海・南海3連動地震」の津波浸水想定を基に作成したものです。
津波からの避難場所は、付近の高台です。地震の揺れを感じたときは、防災行政無線のサイレンや放送を聞いてからではなく、揺れがおさまったら直ちに避難行動を開始してください。東日本大震災の教訓に学び、想定にとらわれることなく、可能な限り高い所へ避難することが肝要です。いざというときのために、毎日の避難訓練や避難路の確認が有効です。
マップには、町が把握している初期避難場所(高台等)、津波避難ビル、津波避難タワーを表示しています。この他にも、自宅の裏山など近くの安全な高台への避難をお願いします。
なお、町が開設する避難所()は、地震・津波の直接の危険性が去った後、避難生活をするために使用するものです。

白浜町　津波ハザードマップ

椿地域　想定地震　南海トラフの巨大地震

緊急避難先レベル3(☆☆☆)
「南海トラフの巨大地震」による津波浸水域外の安全な場所を指定。

緊急避難先レベル2(☆☆)
緊急避難先(レベル3)へ避難する余裕がないときの緊急避難先として指定。「東海・東南海・南海3連動地震」による津波浸水域外で、「南海トラフの巨大地震」による津波浸水域内にあり、「南海トラフの巨大地震」による津波の浸水深より高い場所。

緊急避難先レベル1(☆)
緊急避難先(レベル2及び3)へ避難する余裕がないときの緊急避難先として指定。「東海・東南海・南海3連動地震」による津波浸水域外で、「南海トラフの巨大地震」による津波浸水域内で、「東海・東南海・南海3連動地震」による津波浸水域内で、「東海・東南海・南海3連動地震」による津波の浸水深より高い場所。

避難先の安全レベルについて

和歌山県は、独自の取り組みとして避難先の安全レベルの設定を行っています。避難先の安全レベルの考え方については次のとおりです。

●津波に関する警報と注意報

津波による災害の発生が予想される場合には、気象庁より大津波警報/津波警報/津波注意報が発表されます。これまで8段階で発表していた「予想される津波の高さ」について、被害との関係や、予想される高さが大きいほど認識が大きくなることなどを踏まえ、5段階に集約しました。

	予想される津波の高さ		とるべき行動	想定される被害
	数値での発表	巨大地震の場合の発表		
大津波警報	10m以上(10m<高さ)	巨大	沿岸部や川沿いにいる人は、高台など安全な場所へ避難してください。	木造家屋が全壊・流失し、人は津波による流れに巻き込まれます。
	10m(5m<高さ≦10m)		津波は繰り返し襲ってくるので、津波警報が解除されるまで安全な場所から離れないでください。	
	5m(3m<高さ≦5m)			
津波警報	3m(1m<高さ≦3m)	高い	ここなら安心と思わず、より高い場所を目指して避難しましょう！	被害の低いところでは建物が残り、流水抵抗が発生します。人は津波による流れに巻き込まれます。
津波注意報	1m(20cm≦高さ≦1m)	(発表しない)	海の中にいる人は、ただちに海から上がって、海岸から離れてください。	海の中では人は津波に襲われ巻き込まれます。小型船舶が転覆します。

●堤防や陸地に近いと津波警報が聞こえないことがあります。海岸から離れ、高台へ避難しましょう。
●津波は地形などの影響により局所的に予想より高くなる場合があります。より高い場所を目指して避難しましょう。
●地震発生後、予想される津波の高さが20cm未満で被害の心配がない場合、または津波注意報の解除後も海面変動が継続する場合には、「津波予報(若干の海面変動)」を発表します。

この図は、平成28年に和歌山県が作成した調査結果を基に作成したものです。

【発行】白浜町（平成26年3月作成）

白浜町 津波ハザードマップ

日置川地域　想定地震　南海トラフの巨大地震

この津波ハザードマップは、和歌山県が平成25年に公表した「南海トラフの巨大地震」及び「東海・東南海・南海3連動地震」の津波浸水想定を基に作成したものです。

津波からの避難場所は、付近の高台です。地震の揺れを感じたときは、防災行政無線のサイレンや放送を聞いてからではなく、揺れがおさまったら直ちに避難行動を開始してください。東日本大震災の教訓に学び、想定にとらわれることなく、可能な限り高い所へ避難することが肝要です。いざというときのために、毎日の避難訓練や避難路の確認が有効です。

マップには、町が把握している初期避難場所（高台等）、津波避難ビル、津波避難タワーを表示しています。この他にも、自宅の裏山など近くの安全な高台への避難をお願いします。

なお、町が開設する避難所（）は、地震・津波の直接の危険性が去った後、避難生活をするために使用するものです。

●津波に関する警報と注意報

津波による災害の発生が予想される場合には、気象庁より「大津波警報」「津波警報」「津波注意報」が発表されます。これまで8段階で発表していた「予想される津波の高さ」について、被害との関係や、予想される高さが大きいほど誤差が大きくなることなどを踏まえ、5段階に集約しました。

	予想される津波の高さ			とるべき行動	想定される被害
	数値での発表	巨大地震の場合の発表			
大津波警報（巨大地震の場合は最大級の津波が襲来し、高い所へ逃げる目安は10mを超える）	10m超（10m＜高さ）	巨大		沿岸部や川沿いにいる人は、高台など安全な場所へ避難してください。	木造家屋が全壊・流失し、人は津波による流れに巻き込まれます。
	10m（5m＜高さ≦10m）			津波は繰り返し襲ってくるので、津波警報が解除されるまで安全な場所から離れないでください。	
	5m（3m＜高さ≦5m）				
津波警報	3m（1m＜高さ≦3m）	高い	ここなら安心と思わず、より高い場所を目指して避難しましょう！		標高の低いところでは津波が陸へ進み、浸水被害が発生します。人は津波による流れに巻き込まれます。
津波注意報	1m（20cm≦高さ≦1m）	（表記しない）	海の中にいる人は、ただちに海から上がって、海岸から離れてください。	海の中では人は速い流れに巻き込まれます。小型船舶が転覆します。	

津波は海岸に近いと津波警報の問に合わないことがあります。「揺れたら避難」を徹底しましょう。

●津波は沿岸の地形などの影響により局所的に予想より高くなる場合があります。より高い場所を目指して避難しましょう。

●地震発生後、予想される津波の高さが20cm未満で被害の心配がない場合、または津波注意報の解除後も海面変動が継続する場合には、「津波予報（若干の海面変動）」を発表します。

津波到達時間について

この表示の付近における高さ1m、3m、5m、10mの津波の到達時間を示しています。

初期避難場所（高台等）一覧

No.	名称	海抜(m)	緊急避難先レベル
130	市江地区1(市江崎灯台への道)	12.9	☆☆☆
131	市江地区2(市江地蔵尊敷地)	27.9	☆☆☆
132	市江地区3(日戸地区裏山)	16.0	☆☆☆
133	笠甫地区1(裏山)	13.3	☆☆☆
134	笠甫地区2(太平洋岸自転車道)	14.6	☆☆☆
136	志原地区2(裏山)	11.3	☆☆☆
137	志原地区3(春日神社敷地)	15.8	☆☆☆
138	志原地区4(太平洋岸自転車道)	16.4	☆☆☆
139	志原地区5(パイロット登り口)	18.0	☆☆☆
140	日置地区1(村島避難場所)	25.0	☆☆☆
141	日置地区2(寺山避難場所)	50.8	☆☆☆
142	日置地区3(松原避難場所)	30.0	☆☆☆
144	塩野地区1	8.8	☆☆☆
145	塩野地区2(塩野美姫敷地)	15.9	☆☆☆
146	塩野地区3(生駒神社敷地)	12.1	☆☆☆
147	塩野地区4(日置川こみ焼却場敷地)	29.3	☆☆☆
148	塩野地区5(県道日置川すさみ線)	19.7	☆☆☆
149	塩野地区6(県道日置川すさみ線)	22.1	☆☆☆
150	大古地区1(長寿寺敷地)	10.0	☆☆☆
152	大古地区2(アンソレイユ日置敷地)	8.0	☆☆☆
153	大古地区3(梵音寺付近)	17.2	☆☆☆
154	大古地区4(細田谷避難場所)	21.5	☆☆☆
155	大古地区5(秋葉山避難場所)	20.9	☆☆☆
156	大古地区6(山崎前避難場所)	22.6	☆☆☆
157	矢田地区1(裏山)	22.0	☆☆☆
158	矢田地区2(宝勝寺敷地)	15.4	☆☆☆
160	安宅地区1(住民交流センター敷地)	6.8	☆☆☆
161	安宅地区2(安楽寺敷地)	13.8	☆☆☆
162	安宅地区3(開墾地)	34.1	☆☆☆
163	安宅地区4(安宅観音敷地)	7.1	☆☆☆
164	安宅地区5(八幡神社敷地)	9.3	☆☆☆
165	安宅地区6(宝谷避難場所)	23.2	☆☆☆
167	田野井地区1(田野井会館敷地)	9.0	☆☆☆
168	田野井地区2(旧田野井小学校敷地)	12.0	☆☆☆
169	田野井地区3(天徳寺敷地)	13.0	☆☆☆

町が開設する避難所一覧

避難所名	住所	電話番号
市江区民会館	白浜町日置1446番地	—
目置川拠点公民館	白浜町日置980番地の1	52-2660
住民交流センター	白浜町安宅464番地の1	52-2446
アンソレイユ日置	白浜町大古13番地	87-2300
田野井会館	白浜町田野井544番地	52-3476
三舞中学校	白浜町安居635番地	53-0020
旧玉伝小学校	白浜町大42番地	54-0178
川添川活性化支援センター	白浜町市鹿野1100番地	54-0001

●津波ハザードマップの想定地震●

南海トラフの巨大地震　マグニチュード 9.1

科学的知見に基づき推計した最大クラスの地震です。発生頻度は極めて低いとされています。

東海・東南海・南海3連動地震　マグニチュード 8.7

約90年から150年周期という高い頻度で繰り返し発生している地震です。

震度分布図

南海トラフの巨大地震

凡例（震度）：震度6強、震度7

液状化危険度

南海トラフの巨大地震

凡例（PL値）：かなり低い（PL＝0）、低い（0＜PL≦5）、高い（10＜PL≦15）、かなり高い（15＜PL≦30）、極めて高い（30＜PL）

避難先の安全レベルについて

和歌山県は、独自の取り組みとして避難先の安全レベルの設定を行っています。避難先の安全レベルの考え方については次のとおりです。

緊急避難先レベル3（☆☆☆）

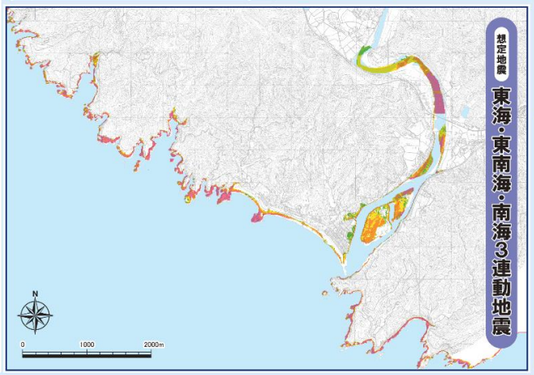
「南海トラフの巨大地震」による津波浸水域外の安全な場所を指定。

緊急避難先レベル2（☆☆）

緊急避難先（レベル3）へ避難する余裕がないとき の緊急避難先として指定。「東海・東南海・南海3連動地震」による津波浸水域外で、「南海トラフの巨大地震」による津波浸水域内にあり、「南海トラフの巨大地震」による津波の浸水深より高い場所。

緊急避難先レベル1（☆）

緊急避難先（レベル2及び3）へ避難する余裕がないときの緊急避難先として指定。「東海・東南海・南海3連動地震」による津波浸水域外で、「南海トラフの巨大地震」による津波浸水域内にあり、「南海トラフの巨大地震」による津波では浸水する場所。「東海・東南海・南海3連動地震」による津波浸水域内で、「東海・東南海・南海3連動地震」による津波の浸水深より高い場所。



津波避難の3原則

① 想定にとらわれるな！

●このハザードマップに掲載している震度分布や津波の浸水域は、あくまでひとつの「想定」です。実際の地震や津波が想定通りになるとは限りません。

② 率先避難者たれ！

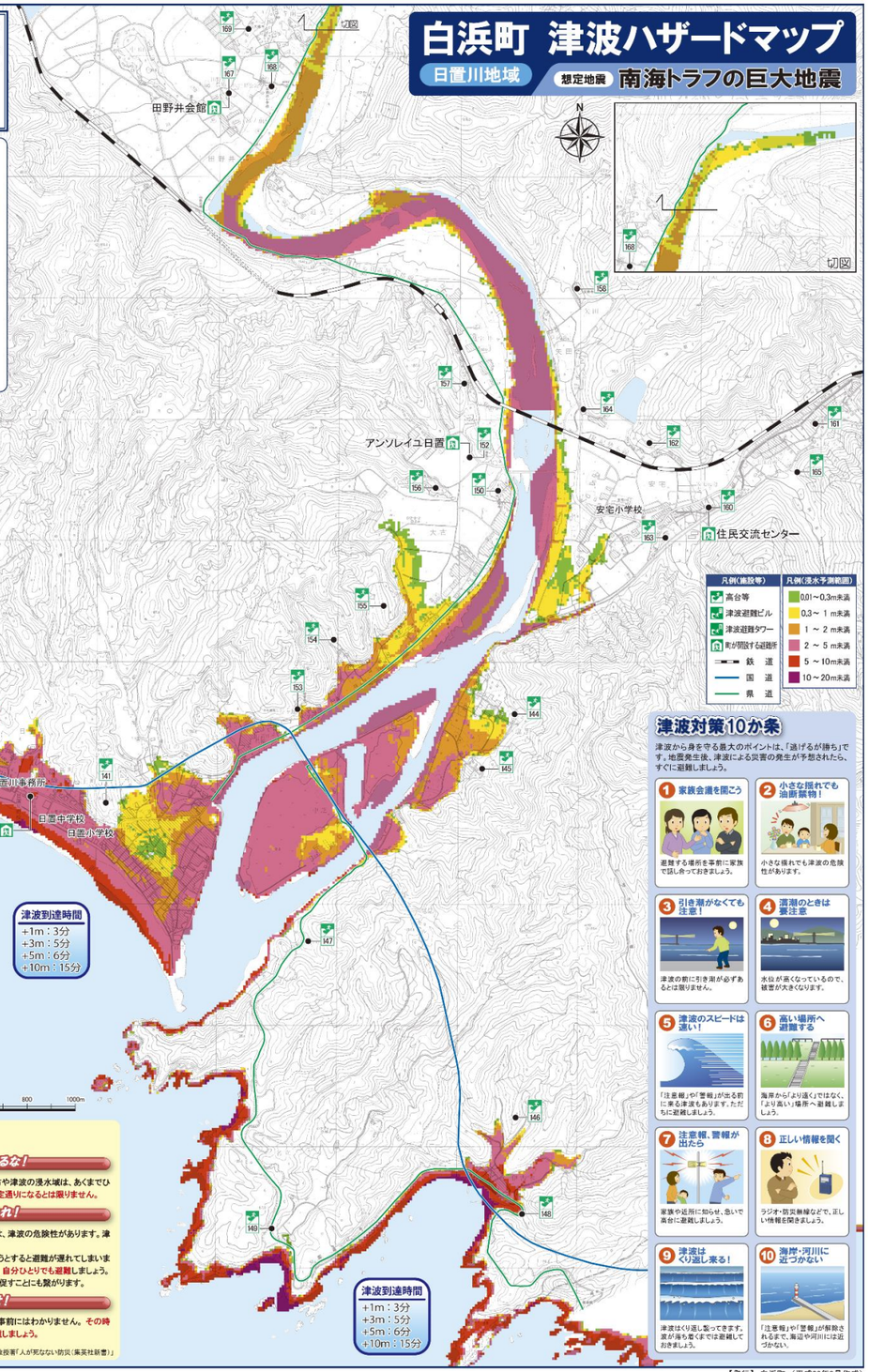
●強い地震や、弱くても長い地震があった後は、津波の危険性があります。津波警報などの情報を待たず避難しましょう。

●家族が離れたところにいた場合、迎えに行こうとすると避難が遅れてしまいます。津波から逃れた後、再会することとして、自分ひとりでも避難しましょう。率先して避難することで、周囲の人の避難を促すことにも繋がります。

③ 最善をつくせ！

●実際にどこまで浸水するかといったことは、事前にはわかりません。その時に考えられる最善を尽くして、あきらめず避難しましょう。

参照：群馬大学大学院　片田敏孝 教授著「人が死なない防災（集英社新書）」



凡例（施設等）：高台等、津波避難ビル、津波避難タワー、町が開設する避難所、鉄道、国道、県道

凡例（浸水予測範囲）：0.01～0.3m未満、0.3～1m未満、1～2m未満、2～5m未満、5～10m未満、10～20m未満

津波対策10か条

津波から身を守る最大のポイントは、「逃げるが勝ち」です。地震発生後、津波による災害の発生が予想されたら、すぐに避難しましょう。

1. 家族会議を開こう　避難する場所を事前に家族で話し合っておきましょう。
2. 小さな揺れでも油断禁物！　小さな揺れでも津波の危険性があります。
3. 引き潮がなくても注意！　津波の前に引き潮が必ずあるとは限りません。
4. 満潮のときは要注意　水位が高くなっているので、被害が大きくなります。
5. 津波のスピードは速い！　「注意報」や「警報」が出る前に来る津波もあります。ただちに避難しましょう。
6. 高い場所へ避難する　海岸から「より遠く」ではなく、「より高い」場所へ避難しましょう。
7. 注意報、警報が出たら　家族や近所に知らせ、急いで高台に避難しましょう。
8. 正しい情報を聞く　ラジオ・防災無線などで、正しい情報を聞きましょう。
9. 津波はくり返し来る！　津波は1波に襲ってきます。波が海も戻るまでは避難しておきましょう。
10. 海岸・河川に近づかない　「注意報」や「警報」が解除されるまで、海辺や河川には近づかない。

震度分布図及び液状化危険度予測図は、平成26年に和歌山県が作成した調査結果を基に作成したものです。

【発行】白浜町（平成26年3月作成）